

## みうらトーク&トーク 第1弾

団 体 三浦市防犯指導員

団体の紹介 市内の防犯についてパトロール  
を中心に活動を行っている。  
他にも防犯啓発活動について  
協力いただいている。



日 時 平成18年5月12日（金）午後4時30分から5時30分

参 加 人 数 三浦市防犯指導員 16名 市側 5名

テ ー マ 防犯活動について

内 容

- （1）三浦市の防犯活動について市民協働室から報告。
  - ・ 市内の犯罪件数の状況（犯罪件数や犯罪種類の説明）
  - ・ 取り組みについて（関係機関及び団体の協力を得ながらの防犯啓発活動、防犯パトロール、防犯のつどいを今年度も行っていく。新たな取り組みとしては、4月より防犯対策、消費生活について三浦市ホームページの掲載を開始した。県の自主防犯活動団体等支援制度のPRなど）

### （2）意見交換

会 員 深夜に花火などを行っているものがある。深夜の花火禁止の看板を設置しているが、余り効果がない。「まちをきれいに」みんなで守る条例などで罰則規定を設けられないか。

市 長 検討していきたい。

会 員 生ゴミを捨てて行く人がいる。看板だけでは効果がない。何か対応策はないか。

市 長 防犯と環境を兼ねたパトロールの強化や防犯意識の啓蒙活動をしていきたい。

会 員 私達の地区では、防犯活動団体の立ち上げを考えている。県の防犯支援制度の話があったが、負傷したときの保険はないのか。

事務局 防犯支援制度の中で、事故の給付制度があります。

会 員 防犯支援制度を使っているが、年に数回、横浜や横須賀で会議があり旅費等が

かかる。ただし、この制度を立ち上げることによって防犯の意識が高揚していると感じている。

会 員 私の地区では、この制度が開始される前に防犯活動パトロール事業を行っていたので、この制度が使えなかった。その後、学校及び通学路の安全のための団体が立ち上がりこの制度が使えるようになった。

週に2回活動を行っている。通学路なので、私達の地区以外でも学童がいるがなかなか他の地区の協力が得れない。

市 長 各小中学校には、教育委員会を通じて登下校時のパトロールの体制をお願いしている。

会 員 それが、なかなか学校に理解されていない現状もあるので、市の方でPRをお願いしたい。

会 員 夏は暴走族や深夜の花火、ごみが心配である。私達も警察官と一緒にパトロールをしながら注意をするが、その場で、はいと言ってもその後すぐに行っている。

物の置いてある方に打ち上げ花火などをあげるので、火事の危険性が出てくる。やはり罰則が必要ではないかと思う。

会 員 防犯灯の電球交換だが、市から補助金を頂いて区で交換をしているが、足りない部分は区の自己負担になる。

会 員 防犯灯の設置では、希望どおり設置が出来ていない。市の予算が厳しいのは分かるが、検討をしてほしい。

会 員 防犯灯の修繕をお願いしたが遅い。

市 長 防犯については、市民の方がボランティアでやっけていただいているもので感謝している。防犯灯については、いっぺんには無理だが徐々に予算を上げていきたと考えている

事務局 防犯灯の修繕も早急に対応していきます。

会 員 防犯意識やごみ拾いの啓発を高めるためには、先生から子どもに指導してほしい。そのためにも教育委員会から学校へお願いしてほしい。

市 長 市の広報紙などで啓発していきます。みなさん貴重なご意見ありがとうございました。今後よろしくお願いします。

事務局 今後も防犯活動についてよろしくお願いします。これでトーク＆トークを終了します。

※ 団体名の公表については、了解を得ております。